

令和5年度第2回北杜市子ども・子育て会議 会議録

開会日時 令和5年7月24日(月) 開会:10時 閉会:11時50分

開催場所 北杜市役所西会議室

出席者

民生委員・児童委員協議会会長 清水 真理子 委員長
帝京学園短期大学教授 吉田百加利 副委員長
民生委員・児童委員協議会(児童福祉部会)会長 小澤志保子 委員
民生委員・児童委員協議会(児童福祉部会)副会長 清水もとみ 委員
北杜市母子愛育会会長 小宮山幸枝 委員
北杜市放課後こども教室コーディネーター代表 矢崎 元子 委員
北杜市PTA連絡協議会会長 保坂 智之 委員
北杜市PTA連絡協議会副会長 小寺 亜希子 委員
北杜市保育園保護者連合会会長 有泉 由佳 委員
北杜市保育園保護者連合会副会長 向井 野々花 委員
北杜市校長会代表 田沢 憲 委員
青少年育成北杜市民会議会長 山田 輝夫 委員
North tree(NPO法人ほくと育ちあいのもり)理事長 平出ユウ香 委員
北杜市保育協議会会長 大久保初美 委員
北杜市保育協議会副会長 粟澤 正子 委員

(事務局)

こども政策部長 大芝 一、こども政策部参事 小澤 茂、子育て政策課長 川端下 正往
子育て政策課総務企画担当 坂口 美穂、子育て政策課子育て応援担当 篠原 伸宗
こども保育課長 齊藤 栄慶、こども保育課保育担当 白倉 健、ネウボラ推進課長 津金 胤寛

欠席者

北杜市食生活推進協議会会長 田中 律子 委員
北杜市PTA連絡協議会副会長 望月 貴光 委員
北杜市商工会会長 小野 光一 委員

議題

- (1)子育て支援施設(こどもランド・こどもパーク)整備について
- (2)保育園の運営について

公開・非公開の別 公開

傍聴人 1人

議事(1)子育て支援施設(こどもランド・こどもパーク)整備について

委員

予算が大きくなるということで、かなりの自分の周りの方から批判をいただいた。財政が厳しい中でも、子育て支援については、国を挙げてやっていることなので、大切ではあると思うがどうなのか。予算が大きくなることについて、例えば、地盤改良が必要なことなど事前にわからなかったのか。

事務局

地盤調査については、設計の中で、実際に建物の位置が確定してから、その場所を調査する。本来であれば、設計が全て終わったところで、必要な金額を予算として計上するが、今回は、概算で、設計が終わる前に、当初予算として計上してしまった。昨今の建築資材等の高騰もあるが、いちばんの理由としては、市が想定していた事業費が少なかったというところがある。子どもの施設を作るならば、さらなる安全性、さらなる快適性を組み入れた中で、良いものを建てたいということで、市の方で追加で、安全対策や快適性をお願いしたところである。その結果として、今回概算として出させていただいた金額は、2億の増額となる、現在、積算の方が終盤に差し掛かっているので、最終で固まったところを9月の議会で改めてお示しできればと考えている。

委員

いろいろな方からご意見を聞いてみたが、正直、プラスに考える人が少なかった。市は、子どものために、これだけお金をかけてくれるんだという前向きな意見はあまりなかった。お母さん方も、自分事に考えていない。興味を示されていない。良いものを作ろうとしている反面、お母さんたちにはその部分が伝わっていない。何を作ろうとしているのか、何をしようとしているのかが、わからない。事業費に関しては、この施設にこれだけのお金をかけるならば、子育ての他の分野でお金をかけて欲しいという意見もあった。思っていたものと違うという人もいた。自分は、こどもランドこどもパークを作り、市が子育て支援に乗り出そうとしていると前向きに考えてきた。作るなら良いものを作りたいと考えてきた。しかし、お母さんたちの注目度は低い。この施設がどのような役割を持つのか、しっかり考えていかなければいけないと思う。

委員

大きな公園も必要だが、身近に小さな公園も必要ではないかという意見もある。自分は、明野に住んでいるが、周りの人はこどもランドこどもパークができて、高根までは行かないという。車でわざわざ行かないという。このまま進んでいいのかと思う。

委員

自分の周りでは、北杜市は自然が豊かなのに近くで遊べる公園が少ない、子どもが外で遊べるような公園が身近にあれば良いという意見はよく聞く。公園については良いか、こどもランドについて5億円ものお金がかかるという所には問題を感じる。実施する事業についても、市が子育てしやすいまちづくりを進めるのであれば、無料にしてほしい。

委員

これまで良いものを作ろうと考えて、いろいろな意見を述べさせていただいた。しかし予算については全く考えていなかった。市の方でこれだけの予算なので、その中でやりたいという話はなかったもので、良いものを作りたいという思いで言いたいことを言ってしまった。例えば、この予

算というのは、補助金等はあるのか、全て市の税金になるのか。教えてもらいたい。
明野の方が、高根は遠いと言われたが、自分は須玉に住んでいるが、ドラゴンパークやみだいの公園に行ったりしている。市内にそれだけのものがあれば、そちらに行くと思う。
全体の7億というのが高いのか妥当な数字なのかもわからない。

委員

今から後戻りする事はできないので、これをどうしたら良い施設にできるのか、どのように使ったら良いのかを考えていくべきだと思う。実施される事業が有料だということについてはどうか。

事務局

予算についてのご質問について、補助金ではなく、合併特例債などの有利な起債があてられる。設計者から、市の要望を受けて工事費の積算をしたときに、これぐらいの金額がかかりますとの提案を受け、市の方でも検討させていただいた。当初の予算の中で建てるか、それとも要望等を入れた中で金額は大きくなって良いものを建てるか、検討させていただいた。その中で、最終的に市長の判断で、子どものために良いものを作りたい、2億増額してでも建てるべきであるという判断をいただき、今回、議会に2億の増額予算をお願いする提案をさせていただきました。

事務局

ファミリーサポート事業と一時預かり事業については、国が定めている事業であり、金額が決まっている。この財源については、国、県からの子ども子育て交付金という補助金が当てられる。施設そのものの利用については無料、付加価値のサービスについては、一部有料とご理解いただければと思う。

委員

保育園の一時預かりとは違うのか。

事務局

保育園の一時保育は、冠婚葬祭など保育に欠ける要件の場合しか利用できないが、今回提案している一時預かりについては、保護者の所用の際、美容院や買い物に行くなど私的な理由についても預けることができる。

委員

施設に保育士が常駐するということか。

事務局

施設に保育士が常駐することになる。

委員

自分はこどもランドこどもパークの計画に賛成である。愛育会からも、子どもを遊ばせる場所がないという意見が、以前からたくさん出ていた。自分の場合も、孫が遊びに来たときに遠い公園まで連れて行っていた。市内に子どもたちを楽しく遊ばせられる場所がなかったので、このような場所を作るという事はとてもありがたい。市もいろいろな計画の中で進んでいると思うが、老朽化したものは統廃合したり、そういう無駄なものを少しずつ削っていく中で、子どものためにシフトしていくのが良いと思う。子どもに使う予算を増やしていただいたい。力を入れてほしい。安全性と快適性は大事だと思う。予算の中に収まれば、それはいいが、たとえオーバーしても子どもに残していくもの、子どもが楽しく遊べる場所は作ってほしい。子ども

たちには未来があるので、子どものための予算は、他のものを切り詰めても取って行って欲しい。この拠点ができたら、次は、各地区の公園も少しずつ整備して行ってほしい。

委員

金額だけを見ると疑問に思う人もいると思う。しかし、こどもランドこどもパークができてすごくよかったと言われるようになれば、それで良いのではないか。保護者や周りの方々の反応で、予算と事業がバランスが取れているかどうか判断できる。ファミリーサポートや一時預かりを利用したことがあるが、有料なので何度も使うことができず、利用を止めたので、利用料は低く設定してほしい。はっぴいたんたんやひよこルームには、いろんなお話をしたり聞いたりして下さる先生方が、いつもいらっしゃるのが良い。子どもランドも、つどいの広場のような雰囲気のところだったらいいなど思っている。できたものが良いものであれば、そこに疑問や不安を持っていたお母さんたちの疑問や不安も、解消されていくと思う。

委員

有料の事業について、100円か200円で使えたらいいと思う。ワンコインで子ども預けられたら、かなり使いたいと思う。市の方でそのような検討をしてほしい。

委員

億というお金の大きさを見慣れていないので、億という予算は凄いものだと思う。ただ、一方で、市の方でも、ご検討いただいた中で、事業を絞りながらも、このようなお金がかかるというようであれば、市を信じて、次のステップの、本当に良いものを作るというところに向かっていけないといけない。評価は後からついてくるもので、そこについては真剣に内容を精査、吟味していくべき。市の将来を考えると、子どもの出生率も大変低く、中長期的に考えると先細りの状況だと思う。それなので市も頑張っているのだと思う。子どもを大事にする気持ちを、市として持っていてほしいと思う。国も子ども家庭庁ができ、「こどもまんなか」というメッセージを発信し、将来の人口増を含め考えている。現状維持は後退という言葉もあるので、かなりのトライアルではあるが、そこにしっかりとお金をかけ、気持ちもかけ、しっかりやっていく。この会議はチェックする場というふうに考えたい。

利用料については、市内も市外も無料という話が出ているが、自分も少し疑問に思っている。地域外の方が利用する際に、例えば初めにトライアル期間を設けて、その期間は無料で使えるようにしてまず施設を知ってもらい、この施設はいいところだから、お金は掛かるが行ってみようという段階を踏んでみてはどうか。市外の方は有料にすることで、市内の方が市の施設だということを認識し、料金を市内の方や地域に還元できるようなシステムにしてはどうか。

一時預かりやファミリーサポートについては、すでに支援もあると思うが、さらに使いやすいような補助があれば良いと思う。

委員

建設費についてはかかるものは仕方がないと思う。これをかけないで済むには止めるしかない。これは仕方がないと思う。建設費は初期投資であるから、これが出来上がった後の運営費については別にかかる。例えば10年運営すれば建設費以上にお金がかかるかもしれない。毎年のランニングコストを、いくらぐらいで想定しているのか。それを教えて欲しい。また、何年か運営していく中で効果測定をしなければいけない。効果測定をするにあたって、どのようなファクターを使って測定していくのか。単純に入館者を数えるというものだけではないと思う。地域の親御さんが、このような公園が欲しいと要望し、この施設を作っているのだから、そのソフト面に

についても効果を図ることを考えているか教えて欲しい。

自分は、小中市PTA連絡協議会という立場で、市に対しての要望をまとめている。昨年の要望を見ると、学校施設が老朽化しており、これを直してもらおうよう要望を出している。こどもランドは1年に数回しか利用しないが、学校については毎日利用するものである。そこにお金をかけずに1年に数回しか使わない施設にお金をかけるということに問題を感じている。市のお金の使い方について、財政当局などに伝えていただきたい。

先ほどから地域の公園を充実させてほしいという意見があるが、新しいものを作るよりも既にある施設をいかに有効活用できるかが重要。今の施設をいかに有効活用できるかを考えてほしい。

事務局

ランニングコストについては、建物の維持管理、経費として、電気料が概ね年間300万程度、それ以外の水道料や警備、保守点検等で460万円。残りが人件費で、8名のスタッフで2800万円ほど。全体で3560万円程度を想定している。

また、効果の測定については、来館者数は1つの指標として取るが、それ以外には、利用者アンケート等満足度調査を行っていく予定である。学校の関係については、教育部局及び財政課に伝える。

委員

先程の数字はパークのみのものであるか。パークの方はどうなっているか。他の維持管理がかなり大変ではないか。

事務局

保守点検料についてはパークの分も含んでいる。芝刈りについては、現在、利用しているグラウンドゴルフの団体が行ってくれている。また、その他の維持管理については、シルバー人材センターに、現在もお願いをしている。

委員

運営について、利用年齢は0から9歳となっているが、これは、こどもランドだけのことか。

事務局

利用年齢を設けているのは、こどもランドだけである。公園について年齢制限は設けていない。

委員

利用要件について、保護者同伴となっているが、この保護者とは、父、母、祖父母に限られるのか。親戚のおばさんや隣のおじさん、兄弟の場合でも良いのではないか。

事務局

運営については委員の皆様からご意見をいただく中で、施設を管理するための条例を作らせていただく。示させていただいたものは案であるので、皆さんから広くご意見をいただきたい。

委員

こどもランドの中にも、高齢者が入れるか、休憩できる部屋などがあるか。開館の時間については、夏と冬について変えても良いのではないか。検討してほしい。

委員

条例については素案を出してもらえるのか。

事務局

議会に出す前に、条例案について、子ども子育て会議でご意見をいただく。

委員

自分は市の審議会に非常に不信感を持っている。これまで何回も審議会で議論をし、意見を集め、答申したのに、反映されなかったことがある。5億で計画されていたものが、これから7億になる。これは議会で通るか通らないかわからない。いくら議論しても、議会で通らなかつたらそれで終わりである。私の経験で、事業費が、要望を取り入れることで、このように膨らんだという計画を見たのは初めてである。これまでの例では、このようにやりますかというものであった。極端に予算が膨らんでくれば、ここを削りましょうという会議があった。より安全により快適にということで、事業が膨らんだということであれば、それは素晴らしいと思うので、ぜひ頑張ってください。良いものを作らなければいけないというのは間違いない。小さいものを作るくらいならば作らないほうがいい。子どもの為にもならない。つまり北杜市の子どもたちが、あそこに行きたい、行ってみたいという施設になるかどうかが一番の問題である。市の中で、あそこは遠い、ここは近いという考えは、もう北杜市の住民としては捨てなければならない。あちこちに小さいものを作っても、その地域に子どもがいなくなったら使われなくなってしまふ。初期投資が非常に大切だと思うので、良いところがあったという施設にして欲しい。また、お母さん方が子どもを預けるのにタダだというのはおかしいと思う。高齢者がデイサービスを使う場合にも少なからずお金を払う。子どもを預けるのに、お金がかかりすぎるとするのはおかしいと思う。ここまでだったら出せるという議論ならばわかるが、負担がないのを望むのはおかしい。

委員

時代が変わっており、現在は保育園も無料である。

委員

ファミリーサポートや一時預かりについては、保育園の一時保育とは違うのか。一時預かり等のサービスを使う際にワンコイン位であれば負担すべきではないかと思っている。それ相応の負担はあっても良いと思う。

委員

事業ひとつひとつにどのような意味合いを持たせるかが重要だと思っている。子育て支援事業や、利用者支援事業など、きちんと周知をした上でどのように使ってほしいかしっかり伝えれば、お母さんたちも、このような時に使おうと考えられる。どのように利用していいかわからないと利用されないの、事業の中身について伝えることが大切である。一時預かりについては、保育園でやっている。しかし、現在は急用時にしか使えない。お母さんたちがリフレッシュしたい時に預かりができることになれば、豊かな子育てにつながる。ファミリーサポートは、サポーターが高齢化しており、マッチングに時間がかかる。この施設に常に保育士さんがいて、とりあえず預けられる環境があるというだけで、お母さんたちの安心感につながる。この施設のハード部分については、親子と地域の方が安心安全に利用してもらえる施設であれば、お金をかける価値がある。お金を掛けないと利用されない、しづらくなれば、使われずもったいない。中身の事業が重要だと思う。会議の中で、ソフトの部分について、深く議論できないのが歯がゆい部分ではある。お母さんたちに意見を聞く中で、対象年齢についても、0歳から9歳となっており、9歳以上の子がいた場合には、外で待たせるのかという意見もあった。また、保護者同伴という部分で、ここには支援センター、つどいの広場、また屋外の利用もあるが、屋内の遊び場として見ている方が多い。子育て支援施設という捉え方ではなく、子どもたちにいってらっしゃい、遊んで

らっしゃいという場所だと思っている。保護者同伴という利用条件を見て驚かれる方も多いのではないかと。市内の児童館については、18歳まで使え、未就学児は保護者同伴であるが、それ以上の子どもについては、子どもだけで利用できる。お母さんたちは送り迎えをすれば、とりあえず遊んでくれるという場所なので、それと同じように考えている人が多い。この保護者同伴というところをどのように意味付けしてくるのか、子育て支援施設として意味付けするのであれば、親子で利用していただいて、小学生まで親子の困り事の相談にのってもらえるというのは、すごく魅力だと思う。0から3歳であれば、今ある施設に通って相談することもできるが、それが9歳まで広がることによって、小学生までのお母さんたちをその施設でサポートすることができる。だから保護者同伴なんだよというふうに押していくのか、それとも、子どもをとき放って良いという施設にするのか、それは市がどちらの考えなのかははっきりさせるべきだと思う。

議事(2) 保育園の運営について

委員

今後、この会議において、保育園の民営化について話し合っていくということか。その場合には、資料の中に、保育園を民営化した場合のメリット、デメリットを示したものをに入れて欲しい。

事務局

今後、皆さんに指針を議論していただくにあたり、民営化に伴って、実際にあったことなどを示させていただければと思う。

委員

保育園の民営化の話についてはとても驚いているが、近隣自治体でそのようなことを行っているところはあるか。

事務局

全国的には多くあるが、一番近くで言えば、蕪崎市で、4つある保育園のうち、2つが民営化されている。今年から追加でもうひとつの保育園が民営化される予定と聞いている、ちなみに、蕪崎市の場合は、指定管理者制度ではなく、完全民営化という形で行っている。

甲府市は公立の保育園がとても少なく、民間の保育園が多い。

北杜市は保育士が不足している状態が長く続いている。民間にお任せすることによって、現在、配置している保育士を他の保育園に配置することにより、手厚い配置をすることができるようになるとも考えられる。

委員

市の施設が老朽化してくれば改修費がかかると思うが、各町に公営の保育園が1つずつはあって欲しいとも思う。しかし、子どもの数によっても違う。老朽化したものを直すにはお金がかかるし、子どもの数が少なくなってくれば、学校と同じで統廃合していかなければならない部分も出てくると思う。運営も大事にしつつ、指定管理者制度などで施設管理をお願いする中で、ソフト面については市の保育士を配置し、やっていけるのが1番良いと思う。指定管理を受けてくれる事業者の見込みはあるのか。

事務局

市に公立保育園は13園ある。民営化も全ての保育園でやるというのではない。市の職員もいるので、その先生方が働く公立の保育園はある。しかし保育士が現在不足気味であるので、いくつか民営化、または運営を民間にお任せするという選択肢もあるのかと思っている。民営化については、葦崎の他にも、長野県では公立保育園を民間に建物ごと譲り、そのまま運営していただき好評を博しているという例もある。現在北杜市が抱えている保育園施設の半分以上が昭和50年頃に建てられたものである。大きく手を入れる必要性も出てくると想定している。民営化の例も見てみるといろいろある。どのようなパターンが市にとって良いのかは、今後見ていく必要がある。また民営化のメリットデメリットについては、皆さんにお示ししながら検討していく。

委員

自分は以前保育士をしていたが、民間委託して利益重視となり、ひどい形になってしまったところもある。公立保育園は信頼性がある。民営化については、運営を任せる相手がどのようなところなのかよく見る必要がある。民営化は慎重にやっていただきたい。

(3)その他

委員

保育園の保護者連合会からいくつか意見があったのでお伝えしたい。1つは毎週末お昼寝布団を持って帰ることについて。東京などでは、布団をリースする例が多いと聞いているので、そのようにしてほしいという意見。2つ目に、白州、小泉などで運行している保育園バスについて、2~3人のためだけに使っているような感じなので、もっと有効に活用した方が良いのではないかという意見がある。次に、園服について。暑くても園服を着て行かなければいけないので、もう少し柔軟な対応をしてほしいという意見。また、体育着を買わなければいけないが、運動会くらいしか使う時がない。買うのであれば、もっと利用してほしいし、体育着や行事で着る服について揃えたい場合には、それをレンタルするという方法もある。そのような柔軟な対応をしてほしいという意見が出た。

委員

総会で、子ども子育て会議に出す意見について聞いたところ、北杜市は子育て支援が充実していて、とても好きな地域であるという声があったので、ここでお伝えさせていただく。様々な要望があると思うが、そのような要望を聞いていただけるとありがたい。

事務局

いろいろなご要望がある事は承知している。園バスについては、利用者がいる限りは運行し、園外活動などに融通して使うようにしている。おむつの処理についても数年前から実施している。要望については、ご意見いただいた中で、少しずつ変えていきたいと考えている。

以上